

令和7年度 第3回 帯広市有林野管理経営審議会 議事概要

○日時 令和7年11月6日(木) 10時00分～10時30分

○場所 ソネビル6階 講習会室

○出席者 委員：今井委員、櫻井委員、日月委員、土井委員、中野委員、
平田委員、水谷委員、道下委員、三橋委員
事務局：廣瀬農村振興課長、廣川農村振興課長補佐、
稲葉主査、山後主任補、水戸係員、赤坂事務員（林業振興係）
傍聴者等：報道関係者1名

○配布資料 資料1 令和7年度第2回帯広市有林野管理経営審議会議事概要
資料2 令和6年度 森林環境譲与税に関する決算状況一覧
資料3 帯広市森林施業計画（第14次市有林施業概要）（案）
資料4 帯広市森林施業計画（第14次市有林施業概要）の答申について

1. 開会

2. 議事

(1) 報告事項

【事務局】

資料1、2について説明

【委員長】

ただいま説明された報告事項について、ご質問、ご意見などはあるか。

【A委員】

私からの意見を反映する形で、帯広市森林施業計画にスマート林業や低密度植栽に関する記載を追記していただいたが、P25以降の計画を見ると、備考欄には2066本や2500本植えと記載されており、国や道が植える密度（1500本～1800本植え）とは異なっている。

具体的な計画への反映は難しいかと思うが、低密度植栽をすると、列間・苗間が広くなり、下刈りを機械化できるなど、省力化にもつながるため、引き続き検討をお願いしたい。

【事務局】

低密度植栽については、第2回審議会にて国や道が実証している段階との話もあったことから、具体的な計画への記載は、見送ることとした。今後、国や道の検証結果などを確認しながら市でも取り組みを進めていきたい。

【委員長】

植栽本数については、計画年度の途中でも調整ができるかと思うので、限りある予算の中で、効率的・効果的に進めるために、市有林でまず率先して進めてもらいたい。

(2) 協議事項

【事務局】

資料3について説明

【委員長】

前回の審議からの新たな意見はなかったというので、特に無ければこのまま承認という形になるが、意見などはあるか。

【B委員】

P25以降に補植の事業量の記載があるが、どのように事業を進めており、事業の実績としてはどうなっているのか。被害の実態などについて確認したい。

【事務局】

補植の事業実績はP22に記載している。第1回審議会での意見を反映させ、備考欄に記載した面積は対象箇所の合計面積である旨を追加した。

補植の実績としては、詳細な資料は持ち合わせていないが、直近3年間の平均では1年間で10,000本弱苗木を植えている。苗木の本数については、前年度に翌年度新植で使う分と補植で使う見込み分をまとめて発注しているが、被害の程度に関わらず苗木は使い切る必要があるため、発注した分を被害の優先度に応じて植えている。

被害の実態としては、毎年4月下旬から5月上旬にかけて市職員が調査を実施しており、ウサギやシカの被害は数%程度だが、ネズミについては多い箇所で20~30%の被害があるところもある。ただし、被害があっても必ずしも枯れるということでは無いため、被害率が直接補植本数とイコールになるということでもない。

【B委員】

数字のみ伺うと、被害本数が1万本となると面積相当で4ha程度補植していることになると思う。1年間の新植が10ha程度のため、多いのではと感じてしまう。

【事務局】

苗木の本数で言うと、毎年3万~4万本購入しているため、補植する苗木の割合は2~3割程度。面積は計画に記載のとおり被害箇所の林小班全体の面積のため、被害面積とは異なる。

【B委員】

獣害の被害状況からすると多いと思うので、樹種を変えるなど被害対策について検討が必要。

【委員長】

被害箇所のデータを収集し対策に活用することは重要であるため、ぜひお願いしたい。その他何かあるか。

【全委員】

意見無し。

【委員長】

その他はないということなので、提案のとおり承認したい。

次に、帯広市森林施業計画（第14次市有林施業概要）（案）の答申について、事務局より

説明願う。

【事務局】

答申について、12月、平田委員長と兼子副委員長から答申書を渡していただく予定。日程については別途調整する。

(3) その他

【委員長】

次に、議事(3)その他について事務局から何かあるか。

【事務局】

なし。

【委員長】

最後に、議題以外の事項について委員から何かあるか。

【C委員】

市有林について、平地は幅広く林帯があり、防風機能を維持しながら木材生産をする箇所があり、山岳地については環境保全を進め天然林化を検討していく箇所があると審議会の中でも説明があった。昨年度、市有林の現地視察があったようだが、ぜひ今後もそのような機会を設けてもらいたい。

【委員長】

スマート林業や低密度植栽を進めている現場、獣害箇所の確認や天然林化を進める森林など審議会で議題となった箇所について、ぜひ見てみたいと思うので、今後もそのような機会を設定してもらいたい。

【事務局】

廣瀬農村振興課長より審議終了に係る挨拶

3. 閉会